

# 小学校

基礎基本を含む活用力を育成する教材集

# 国語 五

令和2年3月改訂

## はじめに

福岡県教育委員会では、児童生徒に国語、算数・数学における基礎基本を含む活用力（基礎的・基本的な知識・技能及び思考力、判断力、表現力等）を育むとともに、地域間の学力向上の取組の差を解消することを目的として、平成25年度から小学校5年生～中学校3年生向けの国語、算数・数学の教材集を作成・配布しました。各学校では、教材集を授業等で繰り返し活用し、取組の改善が図られてきました。

また、平成28年度からは、学力向上に係る検証改善サイクルを小学校中学年から一層計画的に推進するために、小学校4年生向けの教材集を新たに作成しました。これは、福岡県学校教育振興プラン（平成27年12月）において、「小学校中学年までの児童に対し、読解力と基礎的な計算能力の育成を中心とした取組等の強化を図る」とされていることに対応しています。

この度、小学校においては令和2年度から学習指導要領（平成29年告示）が全面実施となることを受けて、改訂を行いました。

本教材集は、大問（主に基礎的・基本的な知識・技能を活用する力を育成する教材）と小問（基礎基本の定着を図る教材）で構成しています。

大問については、指導計画に位置付けた次のような活用が考えられます。

- 授業の主教材として活用する。
- 適用問題や発展問題として活用する。
- 習熟度別指導等の問題として活用する。

小問については、朝の活動や家庭学習等での次のような活用が考えられます。

- 朝の10分程度の時間で小テストやプレテストとして繰り返し活用する。
- 授業（教科書の内容）と関連付け、家庭学習課題として活用する。
- 習熟度別指導等の問題として活用する。

各学校では、授業の中だけでなく、朝の学習の時間や家庭学習等における補充・発展問題として活用していただいているところですが、更に、各問題の特質に応じて、先生方の授業づくりや校内研修の際の参考資料としても活用され、基礎基本を含む活用力の向上に役立てていただくことをお願いします。

令和2年3月

福岡県教育委員会

基礎基本を含む活用力を育成する教材集

目次

1 一単位時間程度で活用する教材（大問）

- 1 互いの立場や意図を考えながら話し合おう。(話し合い・聞くこと)……………1
- 2 調べたことをもとに、報告したり意見を述べたりする文章の書き方を考えよう。(書くこと)……………3
- 3 登場人物の心情や場面についてこの描写をどう考え、自分の考えをまとめよう。(読むこと)……………5
- 4 資料の効果的な読み方を工夫しよう。(読むこと)……………7

大問 1 ～ 4 の出題の趣旨、正答について

9 ～ 12

2 10分程度の短い時間で活用する教材（小問）

- 1 話の中心に気を付けながら聞く。(話し合い・聞くこと)……………13
- 2 事例を挙げながら筋道を立てて話す。(話し合い・聞くこと)……………14
- 3 自分の意見と比べながら聞く。(話し合い・聞くこと)……………15

- 4 目的に合うように、見出し、本文、資料を整えて記事を書く。(書くこと)……………16

(書くこと)……………

- 5 自分の考えを効果的に表現する構成を考えよう。(書くこと)……………17
- 6 接続の関係を整えて文章を書く。(書くこと)……………18
- 7 図をもとに二つのものの関係を説明しよう。(読むこと)……………19
- 8 必要な情報を取り出して再構成しよう。(読むこと)……………20
- 9 広告から情報を取り出し、手紙に表そう。(読むこと)……………21
- 10 優れた表現について、自分の考えをまとめよう。(読むこと)……………22
- 11 筆者の主張と構成の意図を読み取る。(読むこと)……………23
- 12 表現の工夫について、自分の考えをまとめよう。(読むこと)……………24

小問 1 ～ 12 の正答について

25 ～ 26

第五学年【めあて】互いの立場や意図を考えながら話し合おう。

( ) (組) ( ) (番 名前) ( )

1 図書委員である青木さんたちは、全校児童が本に興味をもち、学校図書館をもっと利用してもらえように、図書委員会で取り組む活動を決めることになりました。次は、事前に提出された三つの案と三つの案をもとに図書委員会で話し合っている様子の一部です。これを読んで、あとの問いに答えましょう。

〔事前に提出された案〕

- ア 新刊のチラシをつくり掲示板で紹介する。
- イ 昼休みに低学年の教室で読み聞かせをする。
- ウ 各学級の貸出冊数を調べ、一週間ごとに発表する。

〔話し合いの様子〕

青木 (司会)	田中	山下	後藤	青木 鈴木	山下
<p>〃(議題についての説明)〃 まず、事前に提出された三つの案について、提案者に説明をしてもらいます。そして、その案をもとに話し合いを進めていきます。では、田中さんから説明をお願いします。</p> <p>ぼくの案は、新刊を紹介するチラシをつくって、各学級に配付することです。新しい本があることを紹介すれば、図書館に来てくれると思うからです。</p> <p>わたしの案は、昼休みに低学年の教室で読み聞かせをすることです。読み聞かせをすることで本に興味をもってくれれば、図書館の利用も増えると思うからです。</p> <p>わたしの考えは、各学級の貸出冊数を調べて一週間ごとに発表することです。各学級の貸出冊数を発表すれば、どの学級も貸出冊数を増やすために図書館を利用すると思うからです。</p> <p>では、三人の提案について質問や意見はありませんか。山下さんに質問です。どうして低学年の教室で読み聞かせをするのですか。</p> <p>それは、高学年や中学年にくらべて、低学年の方が読み聞かせに興味をもってくれるからです。</p> <p>(下に続く)</p>	<p>青木 江口</p> <p>確かに低学年の方が読み聞かせに興味をもってくれそうですね。⑦しかし、低学年にだけ読み聞かせをするやり方は、</p> <p>①鈴木さんは、「低学年にだけ読み聞かせをするやり方では」と言いましたが、読み聞かせをして本に興味をもってもらうという山下さんの考えについては、それでよいですか。</p> <p>はい。</p> <p>鈴木さんの言うことは、よくわかりました。では、低学年には読み聞かせをして、中学年と高学年に対しては、新刊のチラシづくりをしてはどうですか。そうすれば、中学年と高学年向けの新刊をたくさん紹介することもできると思います。</p> <p>その考えだと、田中さんのチラシづくりの案も生かされませんね。⑧では、江口さんのいうように、低学年には読み聞かせをして、中学年と高学年には新刊のチラシづくりをするように決定してもよいですか。</p> <p>はい。</p> <p>では、各学級の貸出冊数を調べるといって後藤さんの案についてはどうしますか。</p> <p>⑨ぼくは、貸出冊数を調べて発表するという案には反対です。なぜなら、読み聞かせと新刊のチラシづくりの案は、本に興味をもってもらえば、①が増えるという考えだけど、貸出冊数を調べて発表する案は、貸出冊数を増やすために図書館の利用が増えるという考えだから、活動の目的にある②に合わないと思うからです。</p> <p>(話し合いは続く)</p>	<p>青木 全員</p> <p>〃(議題についての説明)〃 まず、事前に提出された三つの案について、提案者に説明をしてもらいます。そして、その案をもとに話し合いを進めていきます。では、田中さんから説明をお願いします。</p> <p>ぼくの案は、新刊を紹介するチラシをつくって、各学級に配付することです。新しい本があることを紹介すれば、図書館に来てくれると思うからです。</p> <p>わたしの案は、昼休みに低学年の教室で読み聞かせをすることです。読み聞かせをすることで本に興味をもってくれれば、図書館の利用も増えると思うからです。</p> <p>わたしの考えは、各学級の貸出冊数を調べて一週間ごとに発表することです。各学級の貸出冊数を発表すれば、どの学級も貸出冊数を増やすために図書館を利用すると思うからです。</p> <p>では、三人の提案について質問や意見はありませんか。山下さんに質問です。どうして低学年の教室で読み聞かせをするのですか。</p> <p>それは、高学年や中学年にくらべて、低学年の方が読み聞かせに興味をもってくれるからです。</p> <p>(下に続く)</p>	<p>青木 橋本</p> <p>確かに低学年の方が読み聞かせに興味をもってくれそうですね。⑦しかし、低学年にだけ読み聞かせをするやり方は、</p> <p>①鈴木さんは、「低学年にだけ読み聞かせをするやり方では」と言いましたが、読み聞かせをして本に興味をもってもらうという山下さんの考えについては、それでよいですか。</p> <p>はい。</p> <p>鈴木さんの言うことは、よくわかりました。では、低学年には読み聞かせをして、中学年と高学年に対しては、新刊のチラシづくりをしてはどうですか。そうすれば、中学年と高学年向けの新刊をたくさん紹介することもできると思います。</p> <p>その考えだと、田中さんのチラシづくりの案も生かされませんね。⑧では、江口さんのいうように、低学年には読み聞かせをして、中学年と高学年には新刊のチラシづくりをするように決定してもよいですか。</p> <p>はい。</p> <p>では、各学級の貸出冊数を調べるといって後藤さんの案についてはどうしますか。</p> <p>⑨ぼくは、貸出冊数を調べて発表するという案には反対です。なぜなら、読み聞かせと新刊のチラシづくりの案は、本に興味をもってもらえば、①が増えるという考えだけど、貸出冊数を調べて発表する案は、貸出冊数を増やすために図書館の利用が増えるという考えだから、活動の目的にある②に合わないと思うからです。</p> <p>(話し合いは続く)</p>	<p>山下</p> <p>〃(議題についての説明)〃 まず、事前に提出された三つの案について、提案者に説明をしてもらいます。そして、その案をもとに話し合いを進めていきます。では、田中さんから説明をお願いします。</p> <p>ぼくの案は、新刊を紹介するチラシをつくって、各学級に配付することです。新しい本があることを紹介すれば、図書館に来てくれると思うからです。</p> <p>わたしの案は、昼休みに低学年の教室で読み聞かせをすることです。読み聞かせをすることで本に興味をもってくれれば、図書館の利用も増えると思うからです。</p> <p>わたしの考えは、各学級の貸出冊数を調べて一週間ごとに発表することです。各学級の貸出冊数を発表すれば、どの学級も貸出冊数を増やすために図書館を利用すると思うからです。</p> <p>では、三人の提案について質問や意見はありませんか。山下さんに質問です。どうして低学年の教室で読み聞かせをするのですか。</p> <p>それは、高学年や中学年にくらべて、低学年の方が読み聞かせに興味をもってくれるからです。</p> <p>(下に続く)</p>	

問1 ㊦の部分で、鈴木さんは、山下さんの案では、活動の目的を果たすことができないと考え、意見を述べました。ハ、ニの中に入るふさわしい内容を書いて、鈴木さんの意見を完成させましょう。

--	--

問2 ㊧の部分と㊨の部分は、司会である青木さんの発言です。青木さんは、それぞれについて、どのようなねらいで発言していますか。その記号を書きましょう。

ア 話し合いをする上で大切にして欲しいことを確かめようとしている。  
 イ 参加者の同意を得ながら話し合いを進めようとしている。  
 ウ これまでに出てきたいくつかの意見を一つにまとめようとしている。  
 エ 発言のねらいを確かめながら話し合いを進めようとしている。  
 オ 意見が出ないので、発言をして話し合いを活発にしようとしている。

㊧	㊨	
---	---	--

問3 ㊩の部分で、橋本さんは後藤さんの案に対して反対意見を述べようとしています。ハ、ニとヘ、チにふさわしい言葉を書きましょう。

㊧	㊨	㊩
---	---	---

《まとめよう》

◎ 話し合いをするときは、話し合いの  と照らし合わせながら、友だちの話を聞いたり発言したりすることが大切です。

◎ 友だちの  を確かめながら話し合うことが大切です。

◎ 司会者は、参加者の  を得ながら話し合いを進行していくことが大切です。

◎ 出された発言の内容を  たり、まとめたりにして、自分の考えをもつことが大切です。

第五学年【めあて】調べたことをもとに、報告したり意見を述べたりする文章の書き方を考えよう。

( ) 組 ( ) 番 名前 ( )

② けんじさんとゆかささんの学級では、総合的な学習の時間で環境問題をテーマに、それぞれが調べたことについて発表することになりました。次は、発表で使う【報告書】と【かべ新聞の一部】です。これらを読んで、あとの問いに答えましょう。

【報告書】

五年一組のごみ問題に対する意識

〈調べる目的〉

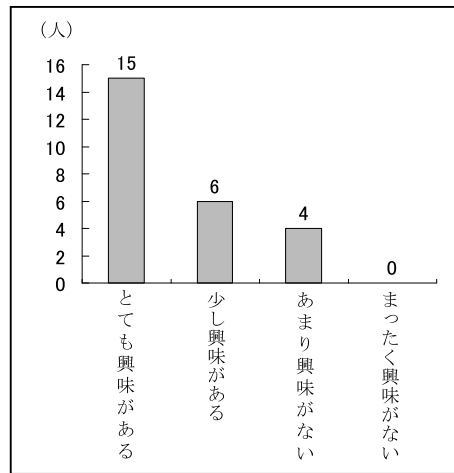
五年一組のみんなが、ごみ問題にどれくらい興味があるかを明らかにすることが目的です。

〈調べる方法〉

五年一組全員にアンケート調査を行いました。

〈調べた結果〉

二十五人全員から回答をもらい、集めた結果を下のようなグラフにしました。結果として分かったのは、次の三つです。



① 「とても興味がある」と答えた人は十五人である。  
 ② 「とても興味がある」「少し興味がある」と答えた人は、意外に多くておどろいた。

③ 「まったく興味がない」と答えた人はいない。  
 〈結果から考えたこと〉

①②③から、五年一組は、多くの人がごみ問題に興味をもっており、全体的にごみ問題に対して意識が高いことがうかがえます。これから、五年一組全員の意識をさらに高めていくことができるように、ポスターをつくってうたったえていきたいと考えています。

また、「とても興味がある」「少し興味がある」と答えた人の中にもポイントをしてしている人がいるので、やめるべきだと思います。

問1 けんじさんは、上の【報告書】を書きました。しかし、

部を書き直す必要があることに気づきました。次の [ ] に、書き直す必要がある理由と、書き直す言葉を書きましょう。

書き直す必要がある理由

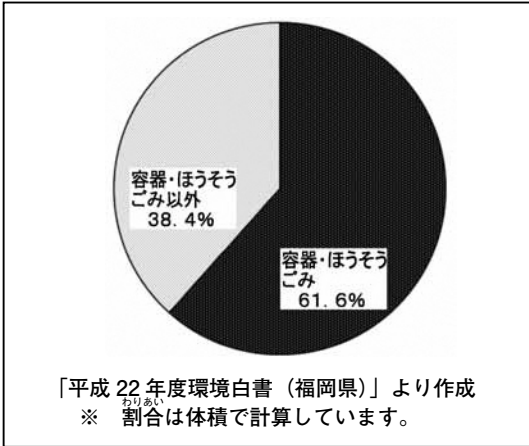
書き直す言葉

また、けんじさんは「部について、」のように書き直しました。次の [ ] に、書き直した理由を書きましょう。

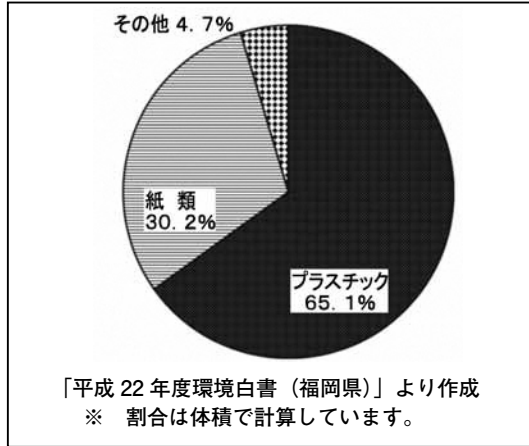
また、「とても興味がある」「少し興味がある」と答えた人の中にも、ポイントをしてしている人がいるかもしれません。次は、ごみ問題に対する意識とポイントとの関係についてくわしく調べてみたいと思います。

## 家庭から出るごみを減らすために、 つめかえ用の商品を選びましょう！

〔資料1〕 家庭から出るごみの種類



〔資料2〕 容器・ほうそうごみの種類



〔資料3〕 洗剤の容器をすてる時の例



※ 容器・ほうそうごみとは、お菓子の箱やペットボトル、かんやビン、シャンプーや洗剤のボトルなど商品を入れる容器、または、商品を包んでいる紙やプラスチックなどのことです。

Blank writing area with vertical dashed lines for notes.

【かべ新聞の一部】

問2 ゆかさんは、家庭から出るごみを減らすために、つめかえ用の商品を選ぶことが重要であるという意見を、かべ新聞の記事に書きました。あなたなら、どのような記事を書きますか。左の【かべ新聞の一部】の□の中に、「資料1」～「資料3」の三つの資料それぞれから分かる事実をもとに意見を書きましよう。

第五学年【めあて】登場人物の心情や場面についての描写をとらえ、自分の考えをまとめよう。

( ) (組) ( ) (番 名前) ( )

③ まさえさんたちの学級では、次の物語の場面を朗読劇に表し、発表会をすることになりました。文章を読んで、あとの問いに答えましよう。

(今朝冬眠から覚めたばかりのお母さんぐまが、二匹の子ぐまをつれて、狩人から逃げています。お母さんぐまは、自分の方に狩人や狩り犬の注意を向けて子ぐまを助けようと遠くへ走りまわりました。しかし、四匹の狩り犬にとうとう追いつかれてしまいました。お母さんぐまは、狩り犬と必死で戦っています。そのころ、狩人も子ぐまたちに追いつきました。)

【場面一】

二人の狩人は、子ぐまの方へかけつけました。野のけだものは、しんぼう強いものです。お母さんぐまの言い付けたとおり、お母さんぐまの来るまで、じっとしゃがんでおりました。が、お母さんぐまの代わりに、二人の人間がやって来たのです。いかになんでも、これではじっとしているわけにはいきません。二匹の子ぐまは、よたこらにげ出しました。

「なあに、にがすものか。」

狩人は、じゅうをほうり出すと、両手を広げて追いつきました。そして、一本のくぬぎの根元に追いつめました。子ぐまは、かわいらしい目玉をくりんくりんさせてふるえていました。

「さあ、どうだ。」

四本の手が出て、一匹ずつ人間の手につかまりました。が、さすがに子供でも、猛獣の子供です。油断を見すまして、その手にかみつきました。

「あっ、ちちち。」

思わず手をはなした拍子に、二匹の子ぐまは、そばのくぬぎの木にかけ登ってしまいました。

「なあに、そんなことをしてもだめだぞ。」

「そうさ。こんな細い木など、切りたおすのに五分間もかからないからな。」

狩人は、山刀をぬいて、パシリ、パシリと切りかかりました。

問1 次は、まさえさんの朗読劇の台本です。

読み方の工夫		人物 (朗読)	場面
理由	読み方	地の文 思わず手をはなした拍子に、二匹の子ぐまは、そばのくぬぎの木にかけ登ってしまいました。	一 ①
いから。	だんだん速くなるように読む。	狩人 「なあに、そんなことをしてもだめだぞ。」	二 母ぐまが子ぐまを助ける場面
いから。	ゆっくり読む。	地の文 ウワー。辺りの空気がびりびりするほどのすごい声です。	③
いから。	②	狩人 「ウー	

① 台本に書き入れましょう。

② ①にあてはまる言葉を考え、主語を「子ぐま」にして、十字〜十五字で  
まさえさんは、読み方の工夫を考えています。  
②にあてはまる読み方  
(声の大きさ、声の質や速さ、間の取り方など)を書きましよう。また、  
その理由を、母ぐまの気持ちや様子を入れて書きましよう。  
③に



【場面二】

ウワー。辺りの空気がびりびりするほどのすごい声です。二人の狩人は、飛び上がっておどろきました。そして、後ろを振り返って見ると、四匹の狩り犬をことごとく打ちたおして、かたからおなかから、傷だらけになった大ぐまが、後足ですくくと立ち上がり、二人を目がけて飛びかかろうとしているのです。大きく開けた口は、火をはくかと思われ、ほど真っ赤です。

「ワー、ワー。」

二人は悲鳴を上げて、しらかばの木のてっぺんまでよじ登りました。と、お母さんぐまは、その木の下に後ろ足をふんばって立ち、二人を見上げて、また一声ほえたてました。

「助けてくれえい。」

狩人は、しらかばのてっぺんで悲鳴を上げました。クーン、クンクン。

くぬぎの木から下りた子ぐまは、鼻音を鳴らしました。すると、お母さんぐまは、子ぐまに近づいて、その頭をぺろぺろなめてやりました。それから、狩人のいる木をにらみつける、天もどろけとばかり、もうれつな声でうなりました。そして、二匹の子ぐまを引き連れ、よろよろする足をふみしめ、ふみしめ、岩の方へ去っていきました。

母ぐま子ぐま 椋 鳩十 光村図書 昭和46〜51年度版「新国語五年下」収録

《コラム》

文中の、「火をはくかと思われるほど」という表現を**比喩**といっています。母ぐまの口の中が「真っ赤である」ことを「火をはく」ことにたとえているのです。それは、子ぐまの命をおびやかそうとしている狩人へのいかりも表しています。

「クーン、クンクン。」は、子ぐまが、母ぐまにあまえるように鼻音を鳴らしていることを表す**擬声語**です。

※表現の工夫には、**擬声語・擬態語**、**比喩**などがあります。自分の表現に活用してみてください。

問2 発表会では、朗読をする前に劇のしようかいをするようにしています。

まさえさんたちが話し合っている内容を読んであとの問いに答えましょう。



まさえ  
母ぐまが子ぐまを必死で守る様子を想像してもらいたいな。「母ぐまの気持ちや様子を想像しながら聞いてください。」としようかいはしたらどうかしら。

けんじ

そうだね。場面二での

からは、そんな母ぐまの気持ちが伝わってくるね。



① けんじさんの発言の□に当てはまる文または言葉を文章から取り出して書き入れましょう。また、なぜ子ぐまを必死で守る母ぐまの様子が分かるのか理由も書きましょう。

理由

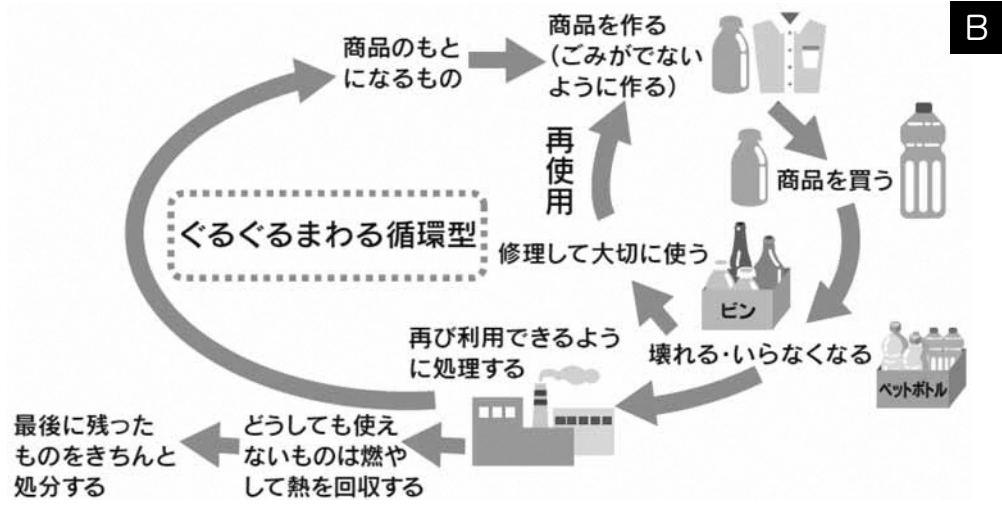
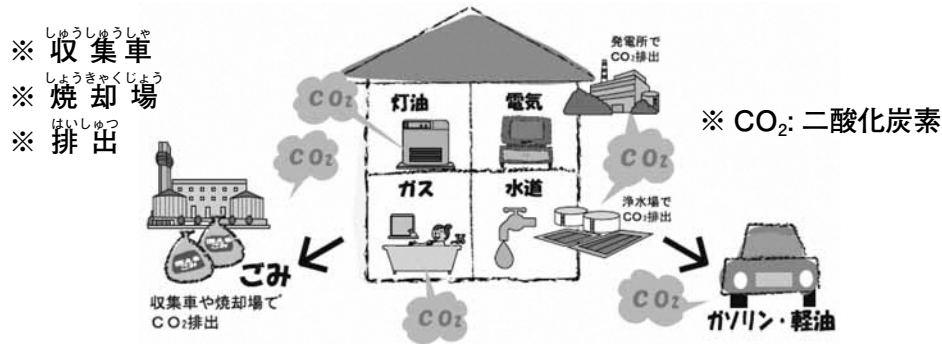
--

② あなたがこの劇をしようかいするとしたら、どのようにしようかいますか。聞き手が物語の登場人物の心情や行動に気をつけて聞くことができるように、三十字以上、五十字以内で書きましょう。


4 太郎さんの学級では、総合的な学習の時間に環境問題について学習しています。太郎さんと花子さんたちのグループでは、二酸化炭素の増加が地球温暖化につながることを知り、二酸化炭素が増える原因と環境を守るための循環型社会について調べました。次の資料A～資料Cを読んで、あとの問いに答えましょう。

二酸化炭素が増える原因

- ① 二酸化炭素は、石油や石炭などの燃料をもやすときに、空気中に発生します。
- ② 私たちの生活の中でいつも使っている電気は、それをつくっている発電所で石油や石炭などをもやしているの、私たちが電気を使えば二酸化炭素を出していることとなります。
- ③ また、ごみを収集車で運んだり、



循環型社会をつくるために大切なこと

- 1 いらなくなったものはゆずったり、リサイクルショップを活用したりする。
- 2 こわれにくく、長く使えるものを買う。
- 3 牛乳パックを再利用したトイレトーパーを使う。
- 4 つめかえできる容器を使う。
- 5 空き缶をリサイクルする。
- 6 リターナブル容器（洗って何度でも使えるビン）を利用する。
- 7 ごはんは残さず食べる。
- 8 再び利用しやすいものを買う。
- 9 ごみになるものは買わない、もらわない。

《出典「平成24年度版みんなの環境」(福岡県 平成24年3月)》



1 [1]

出題の趣旨

○ 互いの立場や意図を明確にしながら、計画的に話し合うことができるかどうかをみる問題である。ここでは、全校児童の学校図書館利用を増やすために、図書委員会で取り組む活動について話し合っている場面を設定した。児童にとって委員会で話し合う機会が多いため、日常生活で活用する力をはかることができる問題である。ここでは、計画的に話し合うことができるようにするために、司会者の役割や目的と照らしながら話し合うことの大切さについて考えさせたい。

2 正答について

問1

○ 正答

(例) (低学年は本に興味をもっても、) 中学年や高学年は本に興味をもつてくれない  
※ 中学年や高学年が本に興味をもつことができないという意の文であれば可。

○ 解説

この話合いでは、低学年の利用だけでなく全校児童の利用が増えるような活動を定めることを目指している。そのため、山下さんが提案した低学年に対する読み聞かせをする方法では、中学年や高学年の貸し出し冊数の増加は期待できない。話合いの目的と照らし合わせながら、批判的に相手の意見を聞くことは、論理的思考力を育成する上で重要なことである。

問2

○ 正答

- ①…エ      ⑦…イ

○ 解説

この問題では、司会者の発言の意図をとらえることをねらいと

している。①の部分については、鈴木さんが山下さんの提案のどこに課題があると考えているのかを明らかにしようとしている。低学年にだけ読み聞かせをすることが課題なのか、読み聞かせそのものが課題なのか、質問によって明らかにしようとしているのである。また、⑦の部分については、確認をすることで、全員の同意を得ながら話し合いを進めようとしている。合意形成を図る話合いにおいては、全員の同意を得ながら話し合いを進めることが大切であることを押さえておきたい。

問3

○ 正答

(例) ① 貸し出し冊数

② 本に興味をもつこと

※ ②については、「本に興味をもつ」という意であれば可。

○ 解説

この問題では、三人が提案をしているが、三人の案は大きく二つの考え方に分類することができる。それは、本に興味を持たせて内発的な動機付けをすること、貸し出し冊数を示して外発的動機付けをすることである。また、この二つの考え方と話合いの目的を照らし合わせると、外発的動機付けでは、本に親しむ態度を形成することは期待しにくい面がある。このように、考え方の違いをとらえたり、目的と照らし合わせたりして、自分の考えをもつことは大切なことである。

《まとめよう》

(例) ア 目的 (ねらい)      イ 発言のねらい (考え)

ウ 同意      エ くらべ

## 1 2

## 出題の趣旨

○ 課題について調べたことを報告文や意見文にまとめる言語活動は、国語科のみならず、他教科等においても用いられることが多い。他教科等に転移させるためには、文種の特徴を理解した上で、適切に書く力を身に付けさせることが求められる。また、どのような目的でまとめるかについても十分考えておく必要がある。事実を知ってもらったために客観的なデータを中心に報告するのか、事実をもとにごみを減らすことなどを学級に呼びかけるのかによって、それぞれ書き方も変わってきます。そこで、総合的な学習の時間で調査したことをまとめる場面を設定し、事実と意見などを区別し、目的に応じて書く力を身に付けさせるために出題した。

## 2 正答について

## 問1

## ○ 正答

書き直す必要がある理由：(例)〈調べた結果〉には、調べて分かった事実を書かなければならないから。

書き直す言葉：(例)二十一人である。

書き直した理由：(例)〈調べた結果〉から考えられることではないから。

## ○ 解説

この問題では、報告書において、事実と意見とを区別して書き分ける力を問うている。

ここでは、〈調べた結果〉で事実を述べること、結果(事実)と考え(意見、感想)の整合を吟味することが大切である。

報告文や意見文などの客観性が求められる文章を書く場合は、自分の考えの根拠となる資料を有効に使うことが重要である。このことは、調査する際に、どんな資料を探せばよいのかを考える

ときにも有効である。

## 問2

## ○ 正答

(例) 家庭から出るごみの61・6%がようき・ほうそうごみです。ようき・ほうそうごみの65・1%がプラスチックです。ようきをすてるときには、つめかえ用プラスチックふくろの方が、プラスチックボトルよりも体積が小さくなります。

だから、家庭から出るごみをへらすために、つめかえ用の商品を選びましょう。

## ○ 解説

(例) この問題では、資料から読み取った情報を根拠に挙げて、意見を述べる力を問うている。

ここでは、プラスチックでできた容器・ほうそうごみを減らすと家庭から出るごみを減らすことに効果があることについて考え、具体的な数値を示しながら意見と区別して事実を述べる力が必要である。

自分の意見を述べるときは、複数の資料、複数の数値の中から、最も効果的なものを選ぶ力が必要である。様々な場面を使って、この問題のように、いくつか情報を与えて、それらをもとに意見を考えさせたい。

## 1 ③

## 出題の趣旨

○ 文学的な文章を読むことによって、児童のものの見方や考え方が広がる。高学年では、様々な読み方を取り上げながら読書の機会を多くもたせ、読書が続ける態度を育成することが求められている。そこで、物語を読んで朗読劇の台本に表す場面を設定し、登場人物の心情や場面についての描写を読み取るとともに、自分の考えをもつことができるようにした。物語の内容理解とともに、読んだことについて自分の考えをまとめ表現する力を身に付けさせるために出題している。

## 2 正答について

## 問1 ①

## ○ 正答

(例) 子ぐまが狩人に追いつめられる(場面)

## ○ 解説

この問題では、物語の中心人物の一人が子ぐまであることと、その子ぐまの行動や心情をとらえ、小見出しにまとめる力を問うている。

## 問1

## ○ 正答 ② ③

(例) ②読み方—大きな声でゆっくり読む。

③理由 —子ぐまが追いつめられているのを見て、とても怒っている母ぐまの気持ちを表したいから。

(例) ②読み方—かすれたような大きな声で読む。

③理由 —母ぐまが怒っていて、その怒りのすさまじさに木々までも緊張している様子を表したいから。

## ○ 解説

この問題では、読み取った登場人物の心情や相互関係、場面の様子を「理由」として、声の大きさ、声の質や速さ、間の取り方などの「読み方」に反映し、読み方の工夫について自分の考えを

まとめる力を問うている。

## 問2 ①

## ○ 正答

(例) 言葉—大きく開けた口は、火をはくかと思われるほど真っ赤です。

理由—火をはくことにたとえられるくらい必死に子ぐまを助けようとする様子が伝わってくるから。

## ○ 解説

この問題では、母ぐまの心情が分かる描写を選び、その優れた叙述から母ぐまの心情を想像して自分の言葉で表現する力を問うている。

優れた叙述については、一冊の本や一編の文章だけでは分かりにくいこともある。同じ作者や同じ題材の作品を比べて読むようにして、児童が自分で優れた叙述に気付いていくことができるように工夫することが大切である。正答(例)以外にも、「かたからおなかから：」「天もとどろけとばかり：」を取り出しているも正答としてよい。

## 問2 ②

## ○ 正答

(例) 二匹の子ぐまが狩人に追いつめられていきます。子ぐま達は、最後にどうなるのか想像しながら聞いてください。

## ○ 解説

この問題では、物語を紹介するという場面を設定することによって、登場人物の相互関係や心情、場面の描写について自分の考えをもち、それを広げたり深めたりする力を問うている。

これらの力をつけるためには、共通の課題、又は一人一人に応じた課題について話し合い、それぞれ考えたことがどのように共通していたり相違したりしているのかなどを明らかにしながら「自分の考えを広げたり深めたりすること」につなぐことが重要である。

1 4

出題の趣旨

資料の効果的な読み方を工夫するとは、構成や記述のために、資料を活用することである。

高学年になると、本を中心とした資料から新聞や雑誌、インターネットなど様々なメディアへと、その活用や情報収集の範囲も広がる。目的に応じて、効果的な読み方を選択して活用することが求められる。

文章だけではなく図の中の情報を読み取ったり、自分で観点を見つけて比較したり分類したりする力が重要である。

2 正答について

問1

正答

(例) (また、ごみを収集車で運んだり、) 焼却場でもやしたりするときに燃料や電気を使うのでごみを処理すれば二酸化炭素を出していいことになります。

解説

この問題は、「文章だけではなく図の中の情報を読み取ることがポイントである。授業で活用する際には、図と文章で構成した資料と文章のみの資料を比較させるなどして、図と文章から内容を読み取る力を身に付けさせたい。」

②の段落の構成を参考にして、原因と結果がわかるように書くことができるか。

図の中の情報(収集車で運んだり焼却場でごみをもやしたりするときに電気や燃料を使うので、二酸化炭素を出すことにつながる)を読み取ることができるか。

六十字以上八十字以内で書くことができるか。

問2

正答

(例) (循環型社会とは、ごみが出ないように商品を作り、) 修理

して大切に使い、いらなくなったものでも再び利用できるようにする社会。

解説

山本さんが説明してくれた、「循環型社会とは、ものを大切にくり返し使う社会」をくわしく説明できるかどうかを問う問題である。「ものを大切に使うこと」と「ものをくり返し使うこと」ということを、図中の言葉を読み取り説明することができるといえる。授業では、矢印や図の重なりや囲みなどの情報を読み取らせるなどして、情報を読み取る力を身に付けさせたい。

山本さんの説明内容と字数制限があることにより、循環の外に位置している「燃やして熱を回収する」は、省略してもよいものとする。

「ものを大切にくり返し使う社会」をくわしく説明しているBの図から3Rに関する内容を読み取り、五十字以上六十字以内で書くことができるか。

問3

正答

ア	ごみを減らす	イ	くり返し使う	ウ	再び利用する
2		1		3	
7		4		5	
9		6		8	

解説

子どもたちに自分で観点を見つけて比較したり分類したりする力を身に付けさせるために国語科だけではなく、他教科等においても情報を集める、比べる、分ける、選ぶ、まとめる、名前を付ける等の活動を体験させることが思考力を育てることにつながる。「なぜそう分けたのか」「なぜ、そうまとめたのか」「なぜ、選択したのか」等について話し合わせたい。

第五学年【めあて】話の中心に気を付けながら聞こう。

( ) (組) ( ) (番号前) ( )

1 中野さんは、お母さんの留守中にかかってきた電話で、お母さんへの伝言をたのまれました。次は、電話でのやりとりの様子の中野さんの伝言メモです。これを読んで、あとの問いに答えましょう。

【電話でのやりとりの様子】

内田 内田と申しますが、お母さんはいらっしゃいますか。  
中野 今、買い物に出かけています。  
内田 それでは、伝言をお願いしてもよろしいでしょうか。  
中野 はい。メモをとりますので、少しお待ちください。では、お願いします。  
内田 明日の待ち合わせのことです。時間と場所をへんこうしたのでお伝え下さい。時間は、九時から十時に変更します。場所は、市民体育館から市民体育館のとなりにある運動公園の北門に変わります。すみませんが、よろしくお願いします。  
中野 はい、伝えておきます。

【中野さんの伝言メモ】

・内田さんから  
ア  
・時間と場所をへんこう  
イ  
・場所：市民体育館から運動公園の北門に

問1 中野さんの伝言メモにある ア と イ の部分には、どのような言葉が入るでしょうか。それぞれに入る言葉を、次の条件に合わせて書きましょう。

・【電話でのやりとりの様子】の中にある言葉を使って書くこと

・か条書きで書くこと

ア

イ

問2 中野さんは、内田さんからの伝言を聞いたあと、すぐに「はい、伝えておきます。」と答えて、電話を切りました。しかし、正しく伝言を伝えるためには、電話を切る前に、あることをしておいた方がよかったですと反省をしました。あることとは、どのようなことでしょうか。







第五学年【めあて】「目的に沿ってゆつじに、見出し、本文、資料を整えて記事を書こう。」

( ) (組) ( ) (番号前) ( )

4 新聞委員のゆうこさんは、十月の運動会について、A・B二通りの記事を書きました。ゆうこさんは、全校児童が全力をつくしたことが伝わる方を選んで、次の委員会に提案することにしました。

あなたなら、A・Bどちらの記事を提案しますか。次の [ ] に記号で書きましよう。また、そう考えた理由をAとBとを比べながら書きましよう。

A

### 最後までがんばった運動会



十月六日(日)、秋晴れの下、平成二十四年度の運動会が行われました。今年度の運動会のめあては「最後まであきらめずに全力をつくそう」でした。練習でうまくできないときは、休み時間にも進んで練習に取り組むなど、めあてに向かってがんばるすがたが見られました。運動会当日も、最後まであきらめずに演技をするすがたに多くの方が感動したそうです。白組も赤組も最後までがんばり、最高の運動会をつくることができました。

B

### 白組優勝おめでとう



十月六日(日)、秋晴れの下、平成二十四年度の運動会が行われました。今年度の運動会は、白組が十対八で、赤組をやぶり、見事に優勝しました。午前中は紅組がリードしていましたが、午後からのリレーなどで白組が逆転しました。一年生のけんじさんは、「優勝できて、本当にうれしいです。来年も優勝したいと思います。」と、よろこんでいました。白組も赤組もがんばり、最高の運動会をつくることができました。

記号

理由



第五学年【めあて】接続せつぞくの関係を整えて文章を書こう。

( ) (組) ( ) (番 名前) ( )

6 美化委員のおおるさんは、一年間のめあてについて、次のように文章を書きました。ア・イ・ウの中に入る言葉を、                    の中からそれぞれ一つ選んで書きましよう。

【とおるさんの書いた一年間のめあて】

ぼくは、美化委員として一年間のめあてを二つつくりました。

一つは、ペットボトルキャップをたくさん集めることです。

ア、全校児童によびかけるポスターをつくったり、毎月集計した数を

お知らせしたりします。

イ、一人でも多くの人が進んで学校を美しくできるようにすることです。

ア、がんばってそうじをしたり、進んでごみを

拾ったりしている人を見つけたらすぐにメモしておき、「美化委員会だより」で全校にしようかいます。

ウ、二つのめあての達成を目指して、一年間努力していきます。

以上のように      その理由は      そのために      反対に      もう一つは

ア		イ	
		ウ	



⑧ さくらさんはお母さんにチーズケーキの作り方を習いました。お母さんから習ったことをもとに、「チーズケーキの作り方カード」を作っています。材料、道具、作り方の続きを書いてカードを完成させましょう。作り方は、①の記述を参考に、【条件】に気をつけて②～⑤まで書きましょう。

【条件】③までは、材料をまぜることについて書く。⑤で、できあがるように書く。

お母さんの話



作るときには、きれいに手を洗うのよ。  
まず、ボウルにクリームチーズ 200g と生クリーム 100mL を入れて、クリーム状になるまで泡立て器でまぜるの。

そして、卵 3 個と砂糖 80g もボウルに入れてまぜ、その後、薄力粉 50g を入れてまぜるのよ。それから、型にクッキングシートを敷いて流しこみ、オーブンに入れ、175℃で 45 分から 1 時間焼くとできあがりよ。取り出すときは熱いので気をつけてね。それから、後片付けもきちんとするのよ。



チーズケーキの作り方カード

<材料>

- ・クリームチーズ 200 g
- ・
- ・
- ・
- ・

<道具>

- ・ボウル
- ・
- ・
- ・

<作り方>

- ① ボウルに、クリームチーズと生クリームを入れ、泡立て器でクリーム状になるまでまぜる。
- ②
- ③
- ④
- ⑤



第五学年【めあて】 広告から情報を取り出し、手紙に表そう。

( ) (組) ( ) (番 名前) ( )

9 あきらさんの学校では、全校児童でまつりを行うことになりました。あきらさんは、まつりの広告を見ながら、野菜作りでお世話になったゲストティーチャーの鈴木さんへ手紙を書いています。次の【条件】に気をつけて、五年生のあきらさんが鈴木さんをまつりに招待する手紙を書きましょう。

【条件】 内容に「いつ行われるか」「どこで行われるか」「どんなもよおしものがあるか」を入れること

## S山小学校まつりのお知らせ

S山小学校まつりを行います。  
 日時 平成25年10月19日(土) 午後1時～5時  
 場所 S山小学校 校舎・運動場

1:00～2:00	合唱コンクール
2:00～3:00	学習発表会
3:00～5:00	バザー

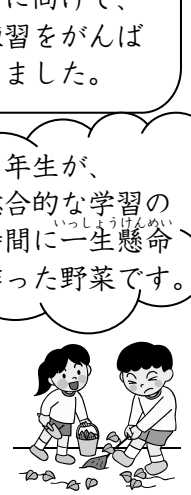
どの学年も合唱コンクール・学習発表会に向けて、練習をがんばりました。

5年生が、総合的な学習の時間に一生懸命作った野菜です。

バザーで売られる野菜  
 ・かぼちゃ  
 ・さつまいも  
 ・大根  
 ・白菜

売上金は寄附をします。

ちいさな地域のみなさん、ほごしやのみなさん。  
 ぜひ、おこしてください。S山小 児童一同



さわやかな季節になりました。鈴木さんもお元氣におすごしのことと思います。

いつもわたしたちの学習をお手伝いいただき、ありがとうございます。

さて、今度ぼくたちの学校で、S山小学校まつりを行うことになりました。

鈴木さんへ

平成二十五年九月二十八日

田中あきら



第五学年【めあて】優れた表現について、自分の考えをまとめよう。

10 次は、高村光太郎が書いた「クロググミ」という詩です。詩を読んで、次の問いに答えましょう。

( )組( )番 名前( )

クロググミ

高村 光太郎

クロググミなにしゃべる。

畑の向うの森でいちにちなにしゃべる。

ちよびちよびちよびちよび、

ぴいひよう、ぴいひよう、

こっちおいで、こっちおいでこっちおいで、

(い)こひしいよう、(い)こひしいよう、

ぴい。

おや、そうなんか、クロググミ

問い 花子さんのグループでは、——部について、次のようにAとBを比べて話し合っています。読点の数がちがうことでどのようにながってきますか。AとBを比べながら書きましょう。

A こっちおいで、こっちおいでこっちおいで、



B こっちおいで、こっちおいで、こっちおいで、

Blank box for student response.





第五学年 小問 正答

【話すこと・聞くこと】

問1 正答 P13  
⑦ ・明日の待ち合わせのこと

① ・時間：九時から十時に

問2 伝言の内容を確認すること。  
※相手や時間、場所などを確認するという意であれば可。

問2 正答 P14  
問1 何だかわかりますか。

問2 選んだ絵：②  
理由：②の絵には、シャンプーとリンスの両方がのっている  
ので、シャンプーの容器だけに、ギザギザがついているこ  
とが分かりやすいから。

問3 正答 P15  
問1

※鈴木さんと秋吉さんのすいせんのどちらを選んでもよい。  
次のような観点から根拠を述べているかどうか重要である。  
〔エピソードの取り上げ方の違い〕  
・ 鈴木さんの方がよいと思います。なぜなら、鈴木さんは、  
素敵な笑顔で言葉をかけてくれることを例に上げているの  
で、笑顔でセリフをいう場面が多い主人公役にぴったりだ  
ということが伝わるからです。

・ 秋吉さんの方がよいと思います。なぜなら、秋吉さんは、  
全校朝会で発表した時のことを例に挙げているので、セリ  
フが聞き取りやすいということがよく伝わるからです。

〔すいせんの言葉の違い〕  
・ 鈴木さんの方がよいと思います。なぜなら、鈴木さんは  
「主人公役は、高田さんしかいません。」と言っているの  
で、高田さんを強くすいせんする気持ちが伝わるからです。

【書くこと】

問4 正答 P16  
〔例〕選ぶ記事：A

理由：見出し、本文、写真ともに、Aは全校児童が最後ま  
でがんばったことが書かれており、目的に合っている。しか  
し、Bは白組がゆうしょうしたことが書かれており、目的に  
合っていないから。

問5 正答 P17  
〔解答例〕せいじさん：(4) ↓ (2) ↓ (3) ↓ (1)  
ちづるさん：(1) ↓ (2) ↓ (3) ↓ (1)

問6 正答 P18  
〔解答例〕ア：そのために イ：もう一つは  
ウ：以上のように

【読むこと】

問7 正答 P19

(正答例)  
 サンゴガニは、サンゴの出すねん液を食べて生きている。サンゴは、オニヒトデからサンゴガニによって守られている。  
 (五十四字)

8 正答 P 20

材料

・生クリーム 100mL ・卵 3個 ・砂糖 80g  
 薄力粉 50g

道具

・泡立て器 ・型 ・クッキングシート  
 作り方

- ① 卵と砂糖をボウルに入れて混ぜる。
- ② 薄力粉をボウルに入れて混ぜる。
- ③ 型にクッキングシートを敷いて流しこむ。
- ④ オーブンに入れ、175℃で、45分から1時間焼く。

9 正答 P 21

(正答例)

日時は、十月十九日土曜日の午後一時から五時までです。場所は、S山小学校の校舎と運動場です。

ぼくたちが歌う合唱コンクールが午後一時から二時まであります。午後二時から三時までには、学習発表会があります。これまで練習を一生懸命がんばってきました。また、総合的な学習の時間に鈴木さんに教えてもらいながら作った野菜が、午後三時から五時までのバザーで売られます。

鈴木さん、ぜひS山小学校まつりにおこしください。

10 正答 P 22

(正答例)

Aは、二つめのこっちおいでと三つめのこっちおいでの間に読点がないから、(クログミや語り手の)はやくこっちにきてもらいたくてたまらないという気持ちが表れていると思う。

11 正答 P 23

問1

(正答例)

ヒキガエルは、さまざまな害虫に対するまたとない天敵であり、利用の仕方次第で人間に幸福をもたらす動物である。

問2

(正答例)

(例1) ヒキガエルは動いている生きた動物だけをとるので、さまざまな害虫に対するまたとない天敵となることを言いたかったから。

(例2) ヒキガエルは動いている生きた動物だけをとるので、人間にとって役に立つ動物となることを言いたかったから。

12 正答 P 24

(正答例)

①えだの先に 雪のひとひら

えだの先に白い梅の花が少しだけさいている様子。

②せいっぱいに せのびして

ひまわりが太陽に向かって大きく生長している様子。



福岡県教育委員会